

とちぎ夢大地応援団活動報告（10月20日実施）

「那須烏山市 大木須地区」

当地区は国蝶であるオオムラサキの飼育などをおして、生息地としての保全や自然の大切さを維持するため里山の環境整備に努めている中で、応援団活動は、今年で5回目を迎えますが「里山大木須を愛する会」が事業主体となつての運営は2年目になりました。

当日は、台風26号の影響で降雨から作業の中止も懸念された状況であったが、当初に計画された耕作放棄地の草刈りのボランティア活動に参加された、夢大地応援団やナルク栃木の6名を始め、県・市や地元関係者7名の総勢13名で、約2時間に及ぶ雨の中での作業を実施しました。

また、宇都宮大学基盤教育の学生17名は悪条件でそばの刈り取りを中止し、替わって近隣の山林に入り樹木調査を地元の人から指導を受け木の名称等を学びました

作業終了後の昼食は、地元女性達が調理した、コシヒカリのおにぎり、地元産野菜たっぷりの芋汁等を美味しくいただきながら、参加者同士が和やかに交流を行いました。

参加者から大学生にむけて、大木須地区の良さの情報発信やオオムラサキの見学に訪れることを期待している旨の発言もありました。



「夢大地応援団」「宇都宮大学学生」と関係者全員の記念撮影



里山大木須を愛する会 堀江会長の歓迎あいさつ



参加されたボランティアの皆様



雨具着用での草刈り



雨の中草刈り隊お疲れ様でした



美味しい料理を頂戴しての交流会



宇都宮大学基盤教育の学生との交流